



指点字・点字、手話で人を繋ぐ

点字・六点の会 & New Dream

「指点字・点字、手話の講座を開いています」

横田夢さんは超アレルギー、リウマチ他の病気と仲良くしながら、歌いながら手話を覚える「New Dream」と、指点字から覚える「点字・六点の会」をそれぞれ開いています。やさしい言語と言われる手話や指点字は、話しことばと同じように相手との会話が可能で、人と人を繋げることが出来ます。荒川区は平成30年に公布した手話言語条例の中で「手話は、独自の文法に基づき、手、指、体等の動きや表情を使って視覚的に表現する言語である。ろう者にとつての手話は、第一の言語であり、コミュニケーションの手段であると同時に、アイデンティティであり、命である」と位置づけています。

「2、3回で覚えることができます」

歌いながらで手話を覚え

るNew Dreamは発足して30年。病院や高齢者施設の依頼を受けて、時には他県まで足を延ばして手話コンサートを行っています。発表会で会員さんは横田



さんが用意したステキな着物や衣装を着て、楽しんで手話を披露します。参加しているのは30〜70代の方たちで、レパトリーは広く唱歌から演歌まであります。会員による尺八やハーモニカの演奏で、遠近法を取り入れた情景が浮かぶ手話を伝えていきます。歌の間奏時には全身で表現するダンスを取り入れています。手話で歌うことで自然と手話が覚えられるようになります。またダンスは全身運動になっています。手話は初心者の方でも2、3回で覚えらるる内容です。

「指点字も歌で覚えます」

発足して24年の点字・六点の会では始めに、メロディに合わせて音符を読むように指で歌詞をなぞって指点字を学びます。半年〜1年ぐらい経つと楽譜を暗譜するように自然と指が動いていきます。それができるようになってから点字機器を使用して学びます。

点字は、見えない人・見えにくい人がさわって読む文字です。駅の切符売り場、郵便ポスト、エスカレーター、階段の手すりや洗濯機他にも表示してあります。通常、使われているのは、サイコロの6つの目で盛り上がった点の組み合わせで文字・数字などを表現します。

指点字は、盲ろう者（目と耳の両方が不自由な人）とのコミュニケーションの

手段の一つです。盲ろう者としてはヘレン・ケラーが有名です。

指点字は両手の人さし指、中指、薬指の合計6本を使って点字を打つための点字紙に、点字を打つ金属製の太い針の点筆でくぼみをつけていく器具に見立て、相手の手（指）の甲に、自分の手（指）を乗せ、指で叩く事によって会話をします。



手話を歌で学ぶ。指点字・点字を学ぶ。新たなコミュニケーション方法を学んで人に繋がる、そして、人を繋ぎませんか。

◆New Dream(歌いながら手話)◆

日時 毎月第2・第3水曜 PM1:30~3:30
場所 アクロスあらかわ2階or3階
(荒川区荒川2-57-8
都電荒川線「荒川7丁目」下車徒歩約3分)
会費 入会金¥1,000 月会費 ¥1,500

◆点字・六点の会◆

日時 毎月第2・第4金曜 PM2:00~4:00
場所 アクロスあらかわ2階or3階
会費 入会金¥1,000 年会費 ¥2,400

◇お問い合わせ◇

横田夢さん 携帯070 (5450) 7050